2010 年 11 月 10 日

新シルクロード戦略について

上海産業情報センター
横江　　隆弘

以前に、中国東北部の黒竜江省牡丹江市をとりあげたことがありますが、今回は江蘇省の連雲港市を訪問する機会を得ることができました。この地域が、最近の日本企業のアジアとりわけ中国に対する市場開拓・新規進出の受け皿に成り得るのかという観点も踏まえながら報告します。

1　連雲港市の紹介

連雲港市は、中華人民共和国江蘇省北部に位置し、人口は約 490 万人で、面積は 7,444 平方ＫＭです。1984 年以降の改革開放政策の一環として位置づけられた「経済技術開発区」14 都市のうちの一つでありましたが、現在は中国の沿海都市のなかでは経済発展が進んでいるとはいえない地域です。しかし、連雲港市はその名のとおり、中国十大港湾の一つであり、その貿易港は古くから関係者の間では有名であります。

2009 年のＧＤＰは、941 億元（約 1 兆 2,200 億円）で、前年比約 13%の増加であり、貿易額は、38 億 6 千万ドルでした。日本企業では、サントリー、味の素、三菱マテリアルなど、県内企業では、ヤマコ、小淺商事など約 100 社弱の企業が進出しています。

また、西遊記の主人公孫悟空が生まれた花果山があることでも有名であるところです。

２　「新シルクロード」とは

新シルクロードという言葉は聞き慣れないかもしれません。私自身恥ずかしながら今回初めて耳にしました。

連雲港は、オランダのロッテルダムまでを鉄道で結ぶ「新ユーラシア・ランドブリッジ」の東側の拠点でもあるのです。それは、シベリア鉄道利用のランドブリッジと同様に、アジア横断鉄道の北部回廊の一つなのですが、連雲港を起点として、隴海線で蘭州、蘭新線でウルムチ、北疆線で阿拉山口を経由し、カザフスタン領内を通ってエカテリンブルクを経由しベルリンに通じるもので

す。この経路が、シルクロード（天山北路）に並行することから新シルクロードと呼ばれています。

この経路を利用した場合、全長 10，200 キロのうち、中国国内を半分近い約 4,000 キロを通過することになりますので、中国のメリットは計り知れない大きなものになるはずです。連雲港で荷揚げされたコンテナが、中国、東欧、西欧と一本で結ばれることになります。(正確には、鉄道の軌道の規格によりコンテナの積み替えが必要です。) 今後、中国の鉄道の高速化が進んでいき、鉄道の軌道の問題が解決されれば（現在、中国とカザフスタンとの双方で新たな鉄道を建設中とのことである。)、ますますこのルートは有効なものになってくると思えます。

３　連雲港市の新シルクロード戦略

連雲港市は、2010 年 9 月 28、29 日に「日中新シルクロード企業協力フォーラム」を開催しました。これは、先に述べた新ユーラシア・ランドブリッジの沿線の都市と日本企業と協力を図ることを目的にしたものです。中国側の参加者は、江蘇省政府、連雲港市政府のほか、中国国務院新ユーラシア・ランドブリッジ担当、同ランドブリッジ沿線の鄭州・西安・蘭州・ウルムチなどの政府幹部であり、一方日本側は、経済産業省通商政策局貞森恵佑通商交渉官をはじめ企業などで総勢 300 名に上りました。

連雲港市は、整備された物流網と沿線各都市企業と日本企業の協力を推進して、経済の発展に拍車をかけていきたいと大いに考えているようです。連雲港市の港湾には、すでにコンテナふ頭、石炭等のばら積みふ頭、造船所などのりっぱな設備が整備されています。今後はさらに 30 万トン級のタンカーが入港できる港湾施設の拡張も進めており、日本企業の物流の拠点としては最適地であるとＰＲされていました。また、先端技術をもつ環

境、新エネルギー、医薬関連の日本企業の進出にも期待しているようです。

４　今後の可能性

連雲港市の特徴である物流環境の整備の面では、以前に取り上げた中国東北部の牡丹江市を通るロシア経由で韓国、日本につながるルートよりも整備の速度が速いと思われます。現実に、日本の中古自動車がこのルートを利用して、中央アジアに輸送されているようです。ここでもやはり、結果がでてからは誰でも進出していけるがそれ以前にリスクをとり、現地政府関係者といい関係をつくるタイミングが重要となってくると思われます。生活環境の整備の面からみますと、日本企業の進出は約 100 社に上っておりますが、聞いたところでは日本料理レストランは 3 件ほどだそうです。日本人が生活する環境としてはいま一歩と思われます。とりわけ中小企業の方々が一社一社進出というのはなかなか厳しいのが現状ですが、現地では取り組むべき課題はいくらでもありますので、どこへ進出する場合でも同じですが、自社ならここでこのような貢献ができるというビジョンがあればぜひ一度現地を確かめられるとよいと思います。